

第36回 地域の声委員会の概要について

第36回地域の声委員会では、平成27年度第1四半期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに今後の発電所の業務運営に反映できるよう検討しました。

皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、発電所の安全対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

東京電力

柏崎刈羽原子力発電所

地域の皆さまから、338件の“声”をいただきました

(平成27年度第1四半期)

発電所見学会でいただいた声、当社社員による訪問活動でいただいた声、発電所にお電話をいただいた声、広報誌「ニュースアトム」等でのアンケートの声など、多くのご意見・ご要望をいただきました。

【いただいた主な声】

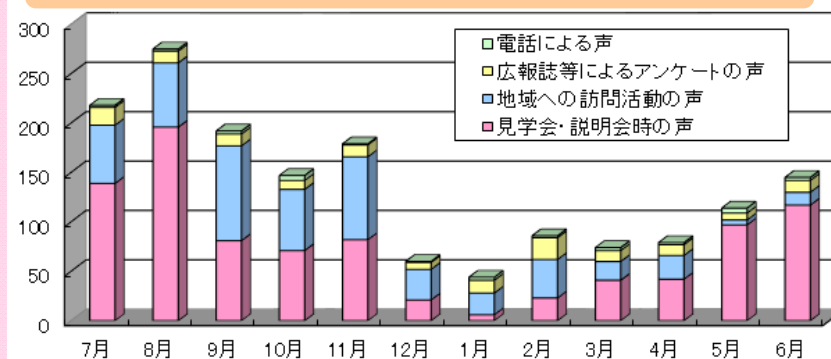
- ・視察会では、福島の実情から徹底して対策を行っていると思った。現物の対策を見て説明を聞き、目と目を合わせることで理解が進む。
- ・原子力に対する様々な意見があると思うが、今後も開かれた雰囲気で見学への対応や議論活動に力を入れてほしい。
- ・最終的に設備の安全を確保するのは人の力である。マンパワーは十二分に確保してほしい。
- ・使用済燃料の処理が心配。
- ・福島第一原子力発電所事故による、賠償、除染、汚染水処理の状況などを広報するべき。

【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、引き続き、以下の点に取り組んでまいります。

- 訪問活動や地域イベント等を通じて真摯な「広聴」に取り組んでまいります。
- サービスホールでの丁寧な展示案内を実施してまいります。
- 地域の皆さまからのご意見やご質問にお答えすることで、ご不安の解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、発電所と本店で共有し、広報活動等に活かしてまいります。

いただいた声の件数（平成26年7月～平成27年6月）



皆さまからいただいた声を今後の発電所の業務運営に役立ててまいります。